【資料④】

平成 20 年 7 月

平成 20 年度　桜野小学校 学校関係者評価（前期）のまとめ

1　子どもたちの姿 について

（１）自ら学ぶ子ども

自ら課題をもち、意欲的に粘り強く追究したり、表現したりすることができる。	
A	・大変意欲的に、集中して学習に取り組んでいるように思える。
B	・授業中の学習態度にも真剣さが伝わり、子どもの自主・積極的な姿勢を感じました。
C	・下級生は「自ら課題をもつ」というところまでは出来ていないように思えましたが、与えられた課題に向き合い、表現することは出来ていたと思います。一方、上級生は、「自ら課題をもつ」ことは出来ているようですが、恥ずかしさからか、意欲的という面では少し外れていると思います。その中でも６年生は、「自ら学ぶ子どもの姿」に一番近づいていると思われました。
D	・「自ら課題をもち」と「粘り強く」に関しては、短時間の参観では、よく分かりませんでした。でも、全体的に、「意欲的に」「表現したり」して、授業に取り組んでいました。一方、クラスに１～２名くらい、集中力に欠ける子どもがいましたので、そんな子どもへの手だてを明らかにする必要があると思いました。

（２）やさしい子どもに育っているか（豊かな人間性の育成）

お互いのよさやがんばりを認め合い、相手の立場に立って行動することができる。	
A	・桜野小の子ども達は、少しおとなしいように感じられる。もう少し、いい意味での「わんぱく」さがほしいように思う。
B	・各学級とも少ない人数で、子ども達がお互いの気持ちを考えている様子を感じました。
C	・下級生は、先生の指導の下に、良いことと悪いことは少しずつ判断することが出来、表現出来ますが、多少過剰な面も見られます。上級生は、個人的にはみんな「心豊かなやさしい子ども」に育っていますが、集団の中では、自分の正義感や良い意見を出せずにいるようです。
D	・授業中に“よい発言”“よい行動”を子どもが行ったとき、教師がすぐに、的確に子どもを褒めておられたことが、子ども達がお互いのよさや頑張りを認めていく第一歩だと思います。

（３）たくましい子どもに育っているか

何事にもチャレンジ精神を持ち、最後までやり抜くことができる。	
A	・学校生活の中ではもちろんのことですが、多くの子どもがスポーツ少年団等に所属して、自分の可能性に挑戦している姿が感じられます。
B	・「自分を良く見せたい、良く評価してほしい」と、みんな思っているようです。そんな中、先生達が子ども達一人一人をきちんと見て、褒めてくれることで、チャレンジをする意欲が高められていると思います。ただ、高学年になると、やはり恥ずかしいのか、引っ込み思案なところが見られます。
C	・「最後までやり抜く」に関してはよく分かりませんが、授業の中で、自分の考えや意見を積極的に発言しようとする姿が見られ、「チャレンジ精神」は感じることが出来ました。

2　教育課程の実施状況、及び自己評価結果の説明 について

（１）教育課程・学習指導について

自ら学ぶ子ども、やさしい子ども、たくましい子どもを育てるために、工夫した授業づくり、活動づくりに努めている。	
A	・少人数を活かした、個に応じた指導がなされているように思える。
B	・多くの参考教材（資料）等を使われ、分かりやすい授業進行がなされているのを感じました。
C	・反復し、分かるまで指導し、評価しながら褒めながら、メリハリのある指導がされていると思います。学校だけではなく、家庭でも褒めてあげれたら、より効果が得られるのではと思います。
D	・どの授業も、自分のことや思い，考えを、物怖じせず表現するたくましさや、お互いを認め合う優しい児童を目指されていることを感じることが出来ました。体力面については分かりません。

（２）校内研究について

子どもたちの学力向上のため、教師の授業力向上のために、校内研究の充実を図っている。	
A	・一つのクラスを複数の先生で授業を進行され、また、授業の途中でも、ベテランの先生が若い先生を指導されてあるのは良いと思いました。
B	・頻繁に校内研究をされているのは知っていますが、保護者に内容等を伝えて頂ければと思います。
C	・学習指導要領が提唱している「思考力・表現力」の育成を教育目標に掲げられ、さらに、本日のどの授業においても、自分を表現する場面を仕組まれていました。「目標」が全ての授業の中で具現化され、徹底されている点が素晴らしいと思いました。

（３）生徒指導、人権・同和教育について

基本的生活習慣の徹底、問題行動等の未然防止を図ると共に、お互いを尊重し合う心豊かな子どもの育成に努めている。	
A	・桜野小の特徴である縦割りのグループでの活動の中で、子ども達は自分の役割を果たし、他の人達への思いやりの心を学んでいると感じました。
B	・先生方がみんなで連携し、問題を共有し、解決へ向けて取り組んでおられるのは分かりますし、保護者も先生を信頼して相談できているところもすごいと思っています。何事にも負けない子どもを育成しようとする努力はすごいです。
C	・大変落ち着いて授業が進められていました。友達の発言に反応したり、発言者の方を向けたりすることが、お互いを尊重し合う第一歩だと思います。授業の中では、心豊かな子どもの育成に努めておられるように感じました。

（４）保健・安全管理、学校教育環境について

子どもの健康・安全を保障するとともに、学びの場としての環境づくりに努めている。	
A	・登下校時の指導の徹底を、特に下校時の安全指導の徹底をお願いしたい。
B	・校内に掲示してある印刷物や、保健室の先生への子ども達の信頼の厚さに、桜野小の教育環境の素晴らしさを感じます。
C	・町予算の関係で十分とはいえませんが、出来る範囲で努めてあると思います。
D	・一番感心したのは校内環境です。恵まれた自然を充分に生かしながら、教室やろうかの掲示物が施されていました。子ども達の写真や作品などが多く飾られ、子ども達は嬉しいだろうな…と思いました。それが自尊感情を高めることにもつながり、やる気を高め、学ぶ意欲を育てていくことになると思いました。

３　**その他**　（保護者・地域との連携等、自由に）

A	・ＰＴＡ行事への父親の参加数の多さから、一桜野校区の住民として、地域の人達の桜野小への思いや一体感を感じています。 先生方全員が、自分の学級だけではなく、全ての子どもの名前と顔、それだけではなく、性格等も把握されていることに感動を覚えます。 私も地域の中で仕事をさせていただいている一人として、益々、小学校との連帯を図っていきたいと考えています。
B	・１年生から６年生まで、地域の方々とのつながりは多い方だと思います。しかし、社会状況の変化から、地域の中で、子どもを叱る大人が少なくなり、ほとんどいないという状況に近づきつつあることを悲しく思います。 叱ってくれる大人は子どもに目を向けてくれていますし、褒めてもくれます。子どもの限られた社会との接点、善意を教えてくれる大切な場所、桜野小では少なからず、そんな機会に恵まれていると思うので、そんな大切な場所で、すごい経験をしてほしいと思います。 私も一人の保護者として肝に銘じたいと思いますし、子ども達を、先生と保護者と地域が一体となって導いていけたらと思います。
C	・短時間の訪問（授業参観）でしたが、学校全体、校長先生が示されている「教育目標」を具現化する活動が、あちこちで行われているように感じました。先生方が同じ方向を見て、子どもの育成に努めておられるように感じました。先生方の日頃の努力に、大変感銘いたしました。

＊平成 20 年度 第 1 回**学校関係者評価委員会** ‥ **平成20年７月３日（木）**
学習参観・集会日に実施